

公益社団法人埼玉県理学療法士会  
令和2年度第4回理事会議事録

1. 開催日時：令和2年7月21日（火）19：00～22：17

2. 会場：インターネット会議

3. 理事現在数及び定足数

理事現在数 17名 定足数 9名

4. 出席理事数 16名

出席理事： 南本浩之、岡持利亘、水田宗達、田口孝行、本宮光信、茄子川知浩、矢野秀典  
赤坂清和、三宮将一、阿久澤直樹、櫻場勝、吉川貴矩、高宮尚之、田澤俊亮  
乙戸崇寛、渡邊賢治

欠席理事： 原田慎一

5. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数 2名

出席監事：前園徹、清宮清美

欠席監事：なし

6. 出席部長・エリア長・委員長

塚田陽一

7. 出席部員

佐藤香（書記）

8. 議長の氏名

南本浩之

9. 議題

<計画内審議>

なし

<計画外審議>

なし

<報告事項>

「LINE WORKS 審議」

<その他の事項>

「令和2年度下半期事業の確認について」

「Zoom オンラインでの会議の方法・zoom使用方法について」

10. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭で本理事会はインターネット会議のため出席者の通信状況を確認し問題なく進行できることが確認された。

議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣言した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

<計画内審議事項>

なし

<計画外審議事項>

なし

<報告事項>

「Zoom オンラインでの会議の方法・zoom使用方法について」

資料に基づき岡持副会長より zoom の使用方法・会議方法について説明があった。

「埼玉県理学療法士会下半期事業内容の確認について」

**【事務局】**

資料に基づき水田事務局長から説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

矢野：学会は web 開催を予定。そのプログラムに表彰式や次期学会長挨拶などを入れたほうがよい。

南本：表彰式もプログラムに追加し実施することで検討する。

水田：代表者会議について、県士会での今後の事業の計画を周知する場、これからの代表者の方々のお考えや事業計画など意見や行ってみたいことなどの共有の場にしたい。意見を求めたい。

渡邊：各施設での状況など積極的に情報共有の場があるといいのではないかな。

南本：会員の方で困っていることなどのピックアップすることなど情報共有や考える場があるとよい。

新入会員が少ないことの原因・解決策を考えていくべきだと思う

水田：会員との懇親会での経費について、別途の使用方法はなにか。

南本：クリアファイルなどを作成して配布するなどは過去に意見があった。

田口：教育局関係で、養成校の学生の現状について、来年度入職した方、新卒の方へ新人教育プログラムの内容に力をいれる。臨床実習指導者講習会については来年度から開始。19年度の2月から養成ができていない状況。10月から行う予定。教育局関係での伝達事項があるため会議内での時間が欲しい。

**【財務局】**

資料に基づき本宮財務局長から説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

本宮：10月以降に上半期の決算が揃ったところで財務局での会議を予定している。例年通りでの役員連絡会議で、会計担当者の方も集まっただき会計の話をしたいと考えているが、80名以上超えると考えるが、可能か。ZOOMを使用した会議を行っていききたい。

水田：zoomを使用すれば可能であると考ええる。

南本：新しい委員会も立ち上がっているので報告会を行わなければいけない。どのように行うかわからない方が多いので、資料などを作成して説明してほしい。

渡邊：なかなか1度ではわからないことが多いため、資料や動画があれば振り返ることが可能。zoomはレコーディング可能のため再確認ができるので良いと思う。

本宮：日当をお支払いすることがこのような状況であるため支払う機会がなかなかない状況。直接会えた時にお渡し、支払をするということでもいいか。

阿久澤：お金のことなので支払時期や支払い方法についての連絡を何かの形で連絡するべきだ。

渡邊：コロナの第2波、第3波が来ることが予測されるため、振り込み手数料について支払方法については年度末や年末などに一度に支払うなど、方法についての検討する場を設けたほうがいいのでは。

南本：実際に年度内に手数料がかかっても支払うべき。支払方法・時期を検討した上で、財務の方でも検討していただきたい。

田澤：講師料の支払いについてですが、どのように行うのか確認したい。

本宮：講師の方に直接振り込む形で良い。

### 【事業局】

資料に基づき茄子川事業局長から説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

南本：このコロナ渦で県民啓発活動や、多職種向けの活動をどのような方法で実施していくかについての皆様から案・意見を頂きたい。

田口：市区町村では徐々に感染対策を行いながら集まり始めている。少人数で開催するなど、感染対策を十分に行った上で実施するという方法で良いのではないか。

茄子川：継続して行っていたことが、また一から広報して行っていくのは難しく厳しい状況である。健康増進部では少人数でも行っていきたい。

南本：問題点を共有しながら実施していければよいと思う。

南本：zoomを使用してブロック内での会話で意見を出し合うようにしましょう。

渡邊：全国的に見て、感染者の少ない県での県土会では少人数でも再開していると思う。他県での活動の情報は知らないか？

渡邊：ガイドラインなど参考にしながら開催できるような準備、情報収集を行いましょう。

清宮：他県の情報はわからない。県内の中でもどうなのか情報収集を行います。

### 【学術局】

資料に基づき矢野学術局長から説明があった。

### 【教育局】

資料に基づき赤坂教育局長から説明があった。

### 【広報局】

資料に基づき三宮広報局長から説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

高宮：今後のフェスタの開催など来年以降の計画など情報が入り次第連絡を頂きたい。

三宮：速やかに連絡する。リーフレットなどの構成を考えている。内容としては「理学療法士とは？」ということ、どんなところで働いているのか、埼玉県オリジナルの内容を入れる予定。リクエストがあれば意見が欲しい。

南本：メールなどでもリクエストや意見などをお願いしたい。

#### 【職能局】

資料に基づき阿久澤職能局長から説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

阿久澤：zoom研修の出席、履修できているのかの出席管理の確認方法を統一すべきか。

田口：指定管理者研修にて出席管理について問い合わせたことがあるが、出席管理については協会としては、特に取り決めて行っていない。県士会が良ければ良いということになっているのが現状。埼玉県士会では出席管理の方法を独自に作成するか、各自で行うなどで良いのでは。

南本：各部局にお任せする。また方法や意見があったら共有をお願いしたい。

田口：統一した見解が得られてない。各部局で行ってみて意見を出し合ったほうがいい。

#### 【東部ブロック】

資料に基づき櫻場東部ブロック理事から説明があった。

#### 【南部ブロック】

資料に基づき高宮南部ブロック理事から説明があった。

上記の説明に関連して、高宮南部ブロック理事より確認があった。

・症例検討会について、発表者のポイント対象となる条件はあるのか？（web開催となるが何か変更はあるか）

・事業の開催にあたって形態を変更している、または中止としていることの手続き・報告はどのように行ったらよいのか意見を頂きたい。

田口：症例検討会はぜひ行ってほしい。ポイントの対象は時間だった気がするが明確ではないので確認して連絡する。

南本：中止の判断については部局長の判断に任せている。事業の開催の変更など大きな変更があれば相談を受け、審議などが必要。各局には担当副会長がいるので相談・報告し決定するようお願いしたい。

#### 【西部ブロック】

資料に基づき吉川西部ブロック理事から説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

・放射線技師会（第二支部の理事の方から）とPTとの共同での研修会を行う予定であり、実行委員を出し、話を進めていこうと考えている。

・主催に関して質問

・各ブロックの施設・病院でのリハビリテーション内で行っている院内研修会を ZOOM で撮影しながら参加した場合、どのような方法でお礼をしたらよいか。会場として開催していただいた各施設・病院のリハビリテーション科に謝礼などの支払いはできるのか、謝礼は無くても良いのか、または支払いの方法はどのように行ったらよいか。

渡邊：主催はどこなのか。

吉川：病院や各施設で行っている。

赤坂：事前に事業として承認しているのであれば問題ない。講師料を支出したいのであれば事前の申請があれば問題ないのではないかと考えます。

田口：県士会内で参加の募集・広報ができていればよいのではないかと。

赤坂：エリア内での参加であれば、十分な時間・内容であれば理事会で承認されていればいいのでは。

渡邊：zoom などの web 開催質を担保するには線引きが難しくなりそうなので、県士会の活動の一環であるということが明確にされている必要があると思う。

阿久澤：事業のスタートを誰が行うのかはとても大切である。主催者が病院となると県士会事業にはならないので、事実上、病院主催となっていた場合は、県士会主催とするという手続きを経て理事会を通して行うべきだと思う。フランクな形であれば、交流会という形にして西部ブロック内の会議の中で一つの枠内でトピックとして施設代表者から情報提供をしてもらうようにするなどの対応が良い。主催が施設や病院など職場となってしまうと、県士会事業としては開催できないのではないかと。

吉川：承知した。また、zoom のアカウントはエリア長で共有してよいか。

〇〇：良いです。

### 【北部ブロック】

資料に基づき田澤北部ブロック理事から説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

田澤：エリアの研修会を行うにあたって、環境を配慮した上で会場に集合しての対面形式の研修会開催は 10 月以降に可能か。

南本：人数的には定員の 1/3 の人数での開催をしている。春日部ではハイブリッドで行っている。会場・zoom・youtube のライブ配信など使用している。会場で感染対策を行ったうえで参加してもらうなど工夫するのはどうか。対面のみは参加を拒否する方もいるので web を駆使するのもよい。

渡邊：現在の日本理学療法士協会事業研修会開催指針ではステージ 2 であるため、現在は 50 名以下、収容定員の半分以下の人数であれば対面集合事業の開催は可能とのこと。実技系の場合はリモート開催となっています。この指針も開催にあたって参考にするとよいのではないかと。

南本：ハイブリット型での開催、感染対策をしながら実施を検討してよいと考える。

阿久澤：国は経済を優先して観客動員などを行っていたが、感染者数が増加している現状もある。基本ベースはオンライン上で行うこととして、施設の中の参加者は対面・集合して行う、ハイブリッド型でも行うなど工夫が必要だと思う。対面ありきで提案すると厳しい部分があるため、意見交換が必要だと思う。

## ブロック全体を通しての質疑応答

櫻場：参加者を募る際、今まではブロック内での募集を行ったが、ウェブでは県全体に対して募るか？

阿久澤：研修はオープンに、交流はブロック内がよいと考えます。東部・西部などブロックを跨ぐ連携を深めたいのであればブロック内で、もっと広い情報交換を求めるのであればオープンにするのが良いと考えます。

渡邊：コロナを想定せずに考えられた計画であったため、現在の状況では新しい広がりすぎるとうまくいかない可能性もある。オンラインで行うことで他ブロックとの交流を図れるのはよいことである。

南本：やってみてフィードバックしていった方がいいのでは。

櫻場：参加者を募る際はブロック内限定として募ることとする。

高宮：公益法人として募る際に参加者を限定するのは好ましくないのでは。参加者を募る際に限定してもよいか。

田口：ブロックとして分ける形態を埼玉県士会はとっている。機能強化としての目的もある。

阿久澤：人数の枠を決めるのはどうか。

田口：オンラインにすることで他ブロックからでもどこからでも参加が可能となっているのもあるが。

前園：もともとこの組織を作るうえで、顔の見える関係を作るためにブロック化した。それが実現できないので小ブロック化したという経緯がある。このコロナ禍のなかで様々な方法で研修会が開催されているし、webで行っているのでブロックを越えての交流が行えるようになっているが、これまでの経緯を考えるとブロックごとの交流が大切だと考えます。

清宮：公益法人であるためタイトルを明確にする必要がある。ブロックごとの開催ではあるが、他ブロックからの参加も可能だという形式・広報で良いと考える。

### 【専門性委員会】

資料に基づき乙戸専門性委員会担当理事から説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

南本：機材に関しては、必要であれば購入して頂くという形になる。LINEWORKS で意見を。

### 【職能委員会】

資料に基づき渡邊職能委員会担当理事から説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

研修会に関しては web に切り替えて計画通り開催予定。

渡邊：もし今後、コロナ関連で、各ブロック・局内で新たな動きや地域からのニーズがあった場合、渡邊の方にも報告していただき、一緒に取り組んでいきたいと考えていきたい。

10年後の理学療法を考える委員会より自民党県連を通しての3つの要望について岡持副会長より説明があった。

① 地域包括支援センターへのリハビリテーション専門職の配置

- ② 高齢者における糖尿病予防に対する運動療法の相談や指導、糖尿病性腎症重症化予防事業と連携したフレイルの予防での理学療法士の活用
- ③ 医療・介護従事者向けに開催される新型コロナウイルス感染症対策の研修会・セミナー事業への支援

南本：上記の件について LINEWORKS にて意見をお願いしたい。

以上をもって議案の審議等を終了したので、22時17分、議長は閉会を宣し、解散した。  
この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

会長 \_\_\_\_\_ 印

監事 \_\_\_\_\_ 印

監事 \_\_\_\_\_ 印